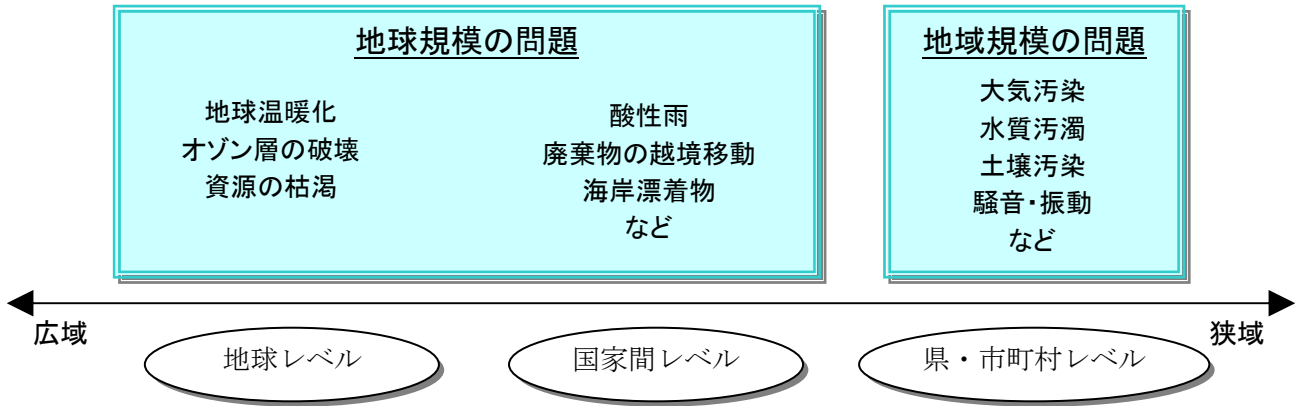


1

環境問題の概要

環境問題の種類

環境問題には、様々な種類があります。地球温暖化問題のような地球規模の問題から、光化学スモッグのような影響範囲の狭い地域規模の問題まで、幅広い問題が挙げられます。



環境問題の歴史

これまでの歴史をしてみると、環境問題の大きなきっかけとなったのは、18世紀後半に始まった産業革命以降の産業の発展です。石炭や石油などの化石燃料を大量に消費しながら、活動の範囲を拡大し、人口増加や大量生産・大量消費に象徴されるような社会経済システムを形成してきた結果として、自然環境に対して排気ガスや排水などにより大量の負荷を与え、環境問題を引き起こしています。

○産業公害の深刻化<1950年代~1960年代>

日本国内で環境問題が注目されるようになったのは、戦後の高度経済成長期です。工業化の発展に伴い、国民生活は飛躍的に豊かになりましたが、一方で工場等から排出された重金属や有害化学物質等による環境汚染が引き金となって、深刻な公害問題が発生しました。特に、イタイタイ病（富山県）、水俣病（熊本県）、新潟水俣病（新潟県）、四日市ぜんそく（三重県）は四大公害と呼ばれ、産業公害の典型的なケースとされています。

このような状況を受けて、1970年代にかけて、大気汚染や水質汚濁、騒音・振動、悪臭などの多くの公害対策に関する法律が整備され、対策が進められました。

<四大公害の概要>

	イタイタイ病	水俣病	新潟水俣病	四日市ぜんそく
発生地	富山県神通川流域	熊本県水俣市 不知火海沿岸部	新潟県 阿賀野川流域	三重県四日市市 石油コンビナート周辺部
発生源	三井金属鉱業 神岡鉱業所	新日本窒素肥料 水俣工場	昭和電工 鹿瀬工場	中部電力等6社
原因物質	カドミウム	メチル水銀化合物		硫黄酸化物等の排煙
被害内容	腎臓障害、骨軟化症	視野狭窄、運動失調、難聴、知覚障害		ぜんそく等の肺疾患

産業公害

1970年代

都市生活型公害

○都市生活型公害の拡大 <1970年代>

高度経済成長が進んだ結果、大量消費・大量廃棄の現代型ライフスタイルが定着し、自動車利用に伴う大気汚染や騒音・振動、生活排水による水質汚濁、廃棄物の増大などの問題が顕在化してきました。それまでの産業型公害とは異なり、市民の普段の生活が原因となって発生する、都市生活型公害へと形が変わったことで、工場と市民の間にあった加害者と被害者という対立関係から、市民自らが被害者でも加害者でもあるという問題構造の変化へとつながっています。

1980年代

地球環境問題

○地球環境問題への注目 <1980年代～>

ローマクラブが1972年に発表した「成長の限界」において、人口増加や工業発展がこのまま進んだ場合、地球上の天然資源が枯渇し、環境汚染が自然の持つ容量を超えて進行すると警鐘を鳴らしたことが大きな契機となり、国際的に環境問題が注目されるようになりました。そして同年、ストックホルムで開催された「国連人間環境会議」において「人間環境宣言」が採択され、国際的な協調と連携による対応が始まりました。

その後、1980年代になると、地球温暖化問題とオゾン層の破壊という2つの地球環境問題が注目されるようになりました。地球温暖化問題は、1985年にフィラハで開催された「気候変動に関する科学的知見整理のための国際会議」において世界的な問題として発表された後も継続して研究が進められ、1988年にはIPCC（気候変動に関する政府間パネル）が設立されました。IPCCは現在に至るまで温暖化に関する調査研究を続けており、2007年には第4次報告書を公表しています。オゾン層の破壊については、1980年代に入って南極上空においてオゾンホールが存在が指摘され、1985年にはオゾン層の保護のための国際的な対策の枠組みに関する「ウィーン条約」が、1987年にはオゾン層破壊物質の削減・廃止への道筋を定めた「モントリオール議定書」が採択されました。

これらの地球環境問題への取組が進められる中、1992年にリオデジャネイロにおいて、世界180カ国の政府や国際機関の参加のもと「国連環境開発会議（地球サミット）」が開催されました。この中で地球環境問題に関する様々な合意形成が進められ、特に持続可能な開発を実現していくために必要な行動原則を示した「環境と開発に関するリオ宣言」と、これを実行するための行動計画「アジェンダ21」は、各国・各地域で現在も続けられている地球環境問題への取組の拠り所となっています。

ミニ講座 時代によって変わる環境問題

環境問題の歴史を見ると、そのとらえ方や対策の考え方が時代とともに変化してきました。特に近年は、地球温暖化など広域的かつ長期的な問題へとシフトしてきており、その対策は、より困難な課題となっています。

